

「川に学ぶ体験活動協議会」活動紹介

N P O 法人川に学ぶ体験活動協議会 事務局長 齊藤 隆

川に学ぶ体験活動協議会（略称R A C）は、「川の指導者」の育成や様々な活動を通じて川と人々との関係をより深いものにしていくことを目的として、平成12年9月に設立され、平成19年12月現在、115団体が加入しています。

今回は平成19年8月22日・23日（・24日）に開催された「川に学ぶ体験活動全国大会」等を報告します。

【第7回川に学ぶ体験活動全国大会in長良川】

平成13年から続く「川に学ぶ体験活動全国大会」は、今年、岐阜県岐阜市をメイン会場に開催されました。今回の大会のテーマは「川で遊び、学ぶ」です。

1日目は、基調講演と実践型分科会、交流会を実施。

分科会では下記の5つのテーマに分かれて実践を中心に行いました。

- A 世界淡水魚園水族館アクア・トトぎふ、河川環境楽園で環境学習コース
- B 金華山：岐阜城・達目洞（だちぼくぼら）ヒメコウホネ見学コース
- C 長良川の河川林管理と竹林利用見学コース
- D 水辺の楽校・戸石川で川遊びコース
- E 長良川を体験、川流れとレスキュー講習コース

「アクア・トトぎふ」の見学では、通常の見学の他、水族館の舞台裏を見せてもらう「バックヤードツアー」を体験。水辺共生体験館では、室内で河川の侵食実験を体験。蛇行する川と、直線河川とどちらが早く流れるのか等について、子どもも夢中になって観察しました。

また、ヒメコウホネ見学コースでは、日本中でたった2箇所しか生息の確認されていないヒメコウホネ（スイレン科の浮葉植物）を見学。その他、竹の間引きの方法や、枝の落とし方、竹の割り方などの体験コースや、タモ編みとバケツ片手、川に入ってオイカワやカワムツ、カマツカ、ギンブナ等の魚とりや貝掘り漁を体験するコース、ベストレスキューツールといわれるスローロープレスキューの体験コースもありました。

1日目の締めは長良川鵜飼広場での交流会。全国各地域から集まった人たちは、鮎の塩焼きや巨大なつくねなど地元の名産を堪能。また、1300年以上前か

ら受け継がれる鵜飼を間近で見学することができました。

2日目は、日頃様々な体験活動を展開している13の団体から、また、岐阜県内からは長良川で活動をしている4つの団体から、今後の活動にとっても参考となる貴重な発表がありました。

午後はエクスカージョンとして、総勢200名による「Eボート長良川下り」が盛大に展開。千鳥橋下流側から長良橋上流までのおよそ4kmをEボートを連ねて壮観な川下りが行われました。殆どの方がEボートから飛び込んでの川流れに「はまって」しまった様です。

3日目は下呂市馬瀬地区で清流を活かした地域づくりを見学。今後も「川に学ぶ」社会づくりが、全国的に展開されることを期待したいと思います。



【R A C指導者用P F Dの開発】

R A Cでは水辺体験活動の救助用として、浮力12キロ、クイックリリースハーネス、ホイッスルを標準装備するライフジャケットを開発しました。背面に銀色で10センチ大の十字の刺繍があり、指導者としての視認性を高めています。数は非常に少ないのですが、この機会に是非自分専用のP F Dをご検討下さい。下記のホームページからお申込み出来ます。



《川に学ぶ体験活動協議会》

東京都中央区入新川2-10-6 カヤヌマビル703号
TEL.03-5542-7577 FAX.03-5542-7578
<http://www.rac.gr.jp/>